

つかさ会 会報

Vol.103
2014.11 月発行
つかさ会事務局

つかさ会会員の皆様、こんにちは。

何という事でしょう、9月は台風が1回も本島に上陸しなかったのに、10月は18号、19号と上陸しました。いずれも岐阜県災害情報によると県内には大きな被害が無かったようでホッとします。しかし18号の影響で、岐阜県糖尿病協会のウォークラリーは中止となりました。つかさ会からはスタッフ入れて20名の参加予定…とても残念です。

このところ朝早く外に出ると朝露がみられ、台風にも倒されなかった稲穂が頭を垂れているのが見事です。やはり秋ですね。確か百人一首の最初の歌がこのような風景だった気がします。朝晩はめっきり肌寒くなり、外来でも風邪で受診される方が少し増えてきたようです。冬には毎年のようにインフルエンザなどのウイルス感染が流行しますので、感染するかもしれない方は予防接種をお忘れなく。また、市町村から「肺炎球菌ワクチン」のご案内が届いた方もおられますでしょうか。10月1日から定期接種と言って一部公費負担での予防接種が始まりました（詳細はさかえの今月号に掲載されています）。こちらから接種された方が良いかもしれませんが。迷われたら、かかりつけ医に相談してくださいね。（注）市町村によって対象者、案内の時期などが異なるそうです。

今月号の『さかえ』には、糖尿病の合併症の記事が満載です。特別企画2の“低温やけどにご注意を(P33)”では、糖尿病末梢神経障害による知覚低下を原因とする低温やけどから、足潰瘍や壊疽が写真入りで解説されています。神経障害がすすんでいる方、糖尿病を放置している期間が長かった方は特に注意してお読みください。ただ…写真がリアルなので、合併症は無いって言われている方はまだ読まなくてもいい気がします。特集は“腎症と糖尿病(P8)”です。分類が変わったことなど丁寧に解説がありますが難しいかもしれません。プラスワン講座は“糖尿病黄斑症(P38)”で、糖尿病網膜症と関連のある黄斑症に関して解説されています。以上、神経・眼・腎臓への合併症を糖尿病3大合併症とも言い、頭文字をとって「しめじ」と説明されることもあります。ただし、どの合併症も糖尿病になったら必ず起こるものではなく、進行して大変なことになるのは僅かな方々です。ですので、糖尿病を怖い！って思うよりも、きちんと管理していれば大丈夫！って前向きに考えていきたいものですよ。

さて「しめじ」をはじめ、秋はキノコの時期でもあります。夏の雨が多かったため、岐阜県内の山奥でも今年はキノコが豊作のようです。カロリーの低いキノコを楽しむのも一手ですね(P46)。“糖尿病治療薬よもやま話(P17)”も、これからの連載が楽しみな記事です。「よもやま話=種々雑多な話」ですので、覚えるのではなく読み流してくださいね。